

第3回四万十市子ども・子育て検討会での意見交換内容（報告）

1 実施状況

日 時 平成31年1月28日（月） 18：30～20：00
場 所 市立文化センター 大会議室
参加者 15団体30名

2 意見交換内容（主な意見等）

（1）各保育所等で行っている「食育」の取り組みについて

- ①（公立）季節ごとの行事に合わせた行事食の提供、児童の嗜好調査としてリクエストメニューを実施、バイキング給食やクッキング給食も行っている。また、畑やプランターで菜園活動も積極的に行っている。家庭への食育啓発として保育所で取り組んでいる食育の紹介、給食のレシピの紹介、食に関する情報などを載せたお便りを発行。昨年6月からは完全給食も始まり、温かいご飯の提供ができるようになり、献立の幅も広がった。アレルギー児には完全除去と部分除去で対応しているが、ガイドラインには「完全除去を基本とする」と示されていることから完全除去のみの対応を検討している。
- ②（民間）以前は希望者数の弁当を業者から取っていた。自宅から弁当を持ってくることも認めていたので、大体半々位だった。しかし、調理師、栄養士を雇った方が良いという考えに至り、現在は直営で給食を提供している。子ども達と調理員の交流の場として、料理が何でできているか、食器の名前は何かなどのクイズを出す給食集会を開いている。食育担当の職員が月に1回、調理員と月々の課題を挙げ、改善向けての共通認識を持つようにしている。子ども達に見えるよう厨房の廊下側をガラス張りにしたことで、子ども達の食に対する興味が随分大きくなった。
- ③（民間）地産地消を心掛けており、なるべく地元の食材を購入している。コメは無農薬米を使用。絵本を見た子ども達が大きなスイカを食べたいという時は、薄く大きな半月に切って子ども達を喜ばせている。自分達で作り収穫した野菜は喜んで食べる。園にも植えているが近所から芋掘りに誘われて行くこともある。
- ④（民間）当日の人数を自分達で調理室へ報告に来ており、栄養士や調理師とのやり取りから数を覚えたりする。3月はリクエスト献立やバイキングで楽しく給食を締めくくる。アレルギー児については、栄養士と面接して診断書を出して貰っている。完全除去と部分除去で皿の色を変えて他の子たちと区別できるようにしている。
- ⑤（民間）保護者に対しては月1回のお便り、レシピ公開、試食会では離乳食も食べてもらっている。保護者への嗜好調査から、親が嫌いなも

のは家では作っていないのではないかということが見えてきた。課題としては、朝食を9時頃に食べて昼にお腹が空かない、朝食を食べておらず朝おやつや給食を掻き込む子がいること。食べてこない子は夜が遅く朝が遅い子が多い。数人は夜12時超えて寝ている。

- ⑥ (民間) 小さな託児所で保育室と調理場が隣り合わせになっている。子ども達は日頃から調理員と話したり、調理しているところを見たり、匂いを嗅いだり、毎日給食時間を楽しみにしている。畑がなく、プランターで芋を作ったり、とうもろこしやエンドウを皮付きで買ってきて一緒に剥いて調理してもらったりしながら、野菜に興味を持ってもらっている。
- ⑦ (民間) 芋、大根、ジャガイモ、玉ねぎの収穫を園の前にある理事長の畑に職員が植え、子どもが収穫する行事がある。トマト、ピーマンをプランターに植えて、子ども達が当番で水をやり、収穫して調理してもらおう。買って来た食材より関心が持てて良く食べる。日頃の生活の中で食事前後の挨拶、手づかみからスプーン、お箸への移行など、子供の成長に合った指導をしている。食事のマナーや姿勢、時間内で食べ終わることも心がけている。乳児は月齢に合った食事を作るため、家庭とも話しながら離乳食のレベルを合わせている。
- ⑧ (民間) 栄養士が部屋に行き、悩みを聞きアドバイスもしている。給食だよりにレシピを入れたり、職員も食育の研修に行っている。
- ⑨ (公立) 食育計画で年間の計画を立てて取り組んでいる。年2～3回管理栄養士に来てもらい箸の持ち方や咀嚼など、年齢に応じた取組をしている。子どもたちが必ず日に1回は調理師の先生と触れ合う機会を持っている。調理師も温かいものは温かく食べられるよう工夫している。行事食や課題など、職員会議に調理員も参加して話をしている。
- ⑩ (公立) アレルギーは、食材に触れないように気を付けたり、食べる机の位置を考えたり細心の注意を払っている。除去の必要のない日には調理の先生と一緒に子どもと食べたり話をしたりして配慮している。
- ⑪ (団体) 一昨年まで月1回、子ども20名程を募集して無農薬など自然食について学ぶ親子の料理教室をやっていた。

(2) 四万十市の食育に期待すること、課題などについて

- ① (団体) 食育の関係について公立も民間も頑張っていると感じたし、こういった環境で子ども達が育つことを嬉しく思う。気になるのは朝食を食べていない子、寝るのが遅い子について、保護者の仕事の関係など色々状況はあると思うが、実態を市は把握しているか。
- ② (公立) 連絡ノートの中で朝ご飯の様子とかも細かく書いて貰う。3歳になると基本的な生活習慣の取組、早寝早起き朝ご飯の習慣など、保護

者対象にそういった話をしながら状況を書いて貰っている。

- ③ (保護者) 寝る時間や起きる時間、食の時間が大事なのは解るが、親も就労していて朝も大変。夜も仕事後のお迎えから夕食の準備等で生活に余裕がない。親の就労状況や誰が食事を作るかなど、もう少し掘り下げて考えていただきたい。調理の時間短縮を考えたり、夫も協力はしてくれるが、家庭の事情も様々。アンケートはプレッシャーになる。子どもも早くしてと言ったりするが、一方では夕食を出来合いの弁当にはしたくないと葛藤している。朝、駐車場で子どもにパンを食べさせているのも見るし、早く食べるように怒ったりするのもどうかと思ったりもする。
- ⇒ (民間) アンケート調査はしているが朝食、寝る時間だけではなく、誰と寝ているかも調査している。子どもがどのような環境で育っているのか確認して、保護者の支援ができる体制作りがしたいというアンケート調査。結果は保護者には配っていない。この家庭はこういう部分が大変なんだなというところを職員で話し合っ、どのような支援が必要かという話し合いはしている。
- ⇒ (民間) 朝スティックパンを持ってくる子もいる。朝食を食べられる部屋を以前は構えていたが、最近は少なくなってきた。
- ⇒ (団体) 身に詰まる保護者の話を聞き、子育てするには厳しい社会状況だが、四万十市だけでも子育てしやすい社会に変えて行きたい。車の中でパンを食べさせても良いと思う。それをお互いが認め合える関係、支え合える四万十市になってほしいと思う。
- ④ (保護者) 土曜日も居残りをお願いして弁当を持たせているが、どの程度おやつを食べて弁当にしているのか分量が分からない。当日のおやつの内容を教えてほしい。
- ⇒ (公立) 土曜居残りの子はおやつは少なめにして、お代わりもさせていない子どもは食べたいと言うが保育士がしっかりと話をしている。
- ⑤ (団体) 食育に対する意識が高く驚いている。市立保育所の献立はゆで卵と煮豆からのスタートだった。食に関わる職員、保育に関わる職員、保護者の皆さんの思いを入れて今の四万十市の食の状態があると思っている。皆さんの努力を無にしないために自分達に何ができるのか考えて今後の支援に取り組みたいと思う。
- ⑥ (保護者) 保育所等でそこまで考えて取り組んでくれた事を知れて良かった。行事食の写真も見せて頂いたが、本当に可愛く作ってもらっている。課題は逆に母親の方に多いのかなと思う。こんなに考えて作ってくださっているのに朝食が遅くてお腹いっぱい食べられないというのは申し訳ない。早起きしてご飯を食べて、午前中に活発に遊ぶことができるベースを作るのは親の仕事だと思う。以前の給食日より簡単な朝ごはんのコーナーがあり、すごく役立った。栄養のある簡単な朝食を紹介していただけると有難い。

- ⑦ (民間) 民間の保育所には栄養士が配属されているが、公立の保育所には栄養士がいるのか。公立は同じ献立だと聞いた。
⇒ (公立) 公立保育所は市に1人管理栄養士がいるのみ。各所には栄養士はおらず調理員がいる。メニューは統一したものを管理栄養士が作っているが、各園で調理員が工夫を凝らした料理を提供している。
- ⑧ (民間) 栄養士がそばにいることが大事。栄養士は始終子どもと接触して子どもの健康状態を把握している。各園に配置すべき。
⇒ (公立) 調理員の中に栄養士の資格を持っている人も何名かいる。
- ⑨ (保護者) メニューはサイクルなのか。公立は子どもが居るので分かるが、民間はどういう感じでサイクルになっているのか
⇒ (民間) 1カ月に2週間サイクル。子どもが小さいので初めて食べる食材、メニューもある。1回目より2回目の方が慣れて食べるというところを目的にしている。職員会で話し合っただけでその時期に応じた新メニューを取り入れたり、子どもの食事の様子を見て苦手なものなど、色々取り入れて工夫している。
- ⑩ (団体) 色々な取り組みをやっていることは知っているが、今日の話し合いでこれからどのような事を進めていくのかというところ。是非保護者の方と気軽に話ができる環境づくりをしてほしい。懇談会でも話してほしい。四万十市は新鮮な食材が多いのでそれを活かして取り組んでほしい。
- ⑪ (民間) 食育で身につけさせたいマナー、食べ方など大事だと思う。まずは副食を食べさせて主食に移る方が良いと思っているが、見ていると主食から食べる。栄養学的な面から保育所はどのように捉えているのか、どのような指導しているのか教えていただきたい。
⇒ (公立) 今はあんまり無理強いしないような食べ方。最後にご飯とおかずと一緒に終わるように、上手に食べられるよう声をかけている。
⇒ (民間) 先ずは食べるのが楽しいということが一番にし、ご飯とおかずが同時に終わるようにする。あとはお箸の持ち方に癖がつくと直すのに苦労するので気を付ける。デザートは最後のお楽しみにして、取りあえず給食を全部並べて子どもに任せている。好きな物から食べるが、子供に任せているだけでなく、野菜も食べるよう担任が声掛けもしている。苦手な野菜は一口で終わりにしようとか少しずつ増やす。小食の子には量を少なくして完食できる喜びを知ってもらうようにしている。

(3) 四万十市保育所等整備計画について
特に意見なし